事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

	コード		名	称		区分	コード		名	称	
事業名	662	日和粉杏	研究推進事業			会計	01	一般会計			
尹未位	002	円作 秋月1		款	10	教育費					
基本	本 38 互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する							社会教育費			
施策	38	丑いを認る		目	03	同和教育費					
施策	4	1 佐砂公		細目	102	同和教育研究推進事業					
ル 東	4	人惟否光	活動の推進			細々目	01	同和教育研究推進事業			
基本	計画該	当頁		147	行	革大綱	の重点	点事項番号		1	
担当部課	1 - -		4504	400	=	评価者		藤岡雅之	連絡先	45 –	9122
担当即缺	名称	教育	育員会生涯学習 謂	果(いがまち公民館)	J	氏 名	藤山雅之		连陷兀	(内線)	444

事業	の計画・内容	
	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業目的	いがまち同和教育研究会及び伊賀支所地域市民	同和教育の充実・人権教育の推進・同和教育学習会、研修会の開催。人権教育リーダーの養成が図られる。
	(※対象件数)	
根	<mark>処法令・要綱等</mark> 伊賀市教育委員会関係補助金交付要綱	
開	冶年度 平成 年度 関連事業	
終	<mark>了年度</mark> 平成 年度	
事業内容	人権啓発活動を展開するため、研究会組織及び人権関係団への支援を行った。 ・各地域、事業所、団体等を会員とする「いがまち同和教育研会」等への補助 *講演会及び研究大会 8月17日・18日 804名参加 *同研会報 3500部発行 ・小中学生を対象とした交流研修会参加の車借り上げ支援 人権学習交流事業 716名参加 10月3回・11月2回・2月1回の計6回	積極的な協力と参加が見られる。

整備内容 1 建設用地 2 建設面積(延床面積) 3 規模・構造 4 総事業費

運営体制

建舌冲刺			
1 運営主体	直営	□指定管理	□民間委託等
委託先			
2 配置(予定)人員			人
3 年間運営費			★ 千円
4 市内の類似施設			

単独 事業類型 I ソフト事業 事業種別 継続

争 耒兲稹										
活動指標	単位		実終	責値		目標値				
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	中世	H18			H19	H20	H21			
補助団体	団体	目標	2	目標	2	2				
福列四体	至	実績	2	実績	2	2				
講演会及び研究大会		目標	2	目標	2	9	_			
再供云及び听九八云	쁘	実績	2	実績	2	2	_			
	学校	目標	5	目標	5	5				
八惟于目义加云	子似	実績	5	実績	5	5				

2次評価対象分

評価指標

事業の成果を測る指標		指標設定の考え方	単位		実終	責値		目標値		
		拍標設定の考え力	- 単位		H18		H19	H20	H21	
研究大会等参加者数	+	参加人数	1	目標	1400	目標	1400	1400		
		参加入数	^	実績	1500	実績	1428	1400		
会報		 発行数	部数	目標	3500	目標	3500	3500		
本戦		光1]	可致		3500	実績	3500	3300		

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性		人権教育及び人権啓発の推進に関する法律に基づき、人権意識を高め、差別解消に向けての取り組みは、今後も継続し 展開していくことが必要。人権教育、人権啓発を享受するのはすべての人々であり、解消への取り組みを過去から将来へ展 開しようとしている研究団体への支援の果たす役割は大きい。
有効性	4	支援団体、研究組織の事業を通じての効果が参加者に表れる。また、地域内でのリーダー的人材が育っている。
達成度	4	ほぼ計画通り達成出来た。
効率性	4	会員会費の増加(会員数の増)に努め、自主活動財源の確保を図る。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	現状維持	事業内容の性格から、達成には限界がなく、継続することが必要。現在、伊賀市同研の一本化の作業進行中(平成22年度設立予定) (いがまち同研事務局は20年4月より支所総務振興課へ移管)

	年度				平成18年					度 決算内	容		0年度 計画				画内容			計画内容	}		3年度 計		
	十尺			事 業	内容数	量単	位 金額	事業内容	数量	量単位	金 額	事業内容	数量単位	金額	事業内容	数量単	位 金額	事業内容	数量	単位 3	金額	事 業 内 容	数量単	位 金 名	額
淮							(千円)			(千円)			(千円)			(千円))			(千円)			(-	千円)
, <u> </u>	委託			使用料及び	び賃借料		338	使用料及び賃借	料		340	使用料及び賃借料		272	使用料及び賃借料		272	使用料及び賃借料	ŀ		272	使用料及び賃借料			272
捗				負担金補助及	なび交付金		1,268	負担金補助及び交付	金		1,268	負担金補助及び交付金		1,177	負担金補助及び交付金		1,177	負担金補助及び交付金	:		1,177	負担金補助及び交付金			1,177
			事																		,				
状	工事		兼																						
	-		│ │ │ 内																						
況																									
		\																							
		`																							
<u> </u>	進捗率																								
·	(%)			事業費請	†(A)		Σ 1,606	事業費計(A)		Σ	1,608	事業費計(A)	Σ	1,449	事業費計(A)		Σ 1,449	事業費計(A)		Σ	1,449	事業費計(A)		Σ 1	1,449
		事業投入人員		人件費(В)	0.5	人 3,600	人件費(B)	0.	.5 人	3,600	人件費(B)	0.3 人	2,160	人件費(B)	0.3	人 2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人 2	2,160
		'ルコスト (A)+(B)					5.206	<u> </u> 			5,208			3,609			3,609		_		3,609				3,609

車業典(人外典院/)の財殖内部

<u>事</u> 業	費(人件費除く)の財源内訳						
(A)	事業費	1,606	1,608	1,449	1,449	1,449	1,449
_	国庫支出金						
A	県 支 出 金						
の	地方債						
河	受益者負担						
内	その他						
記	一般財源	1,606	1,608	1,449	1,449	1,449	1,449
ш/ ч	計	1,606	1,608	1,449	1,449	1,449	1,449
備	その他特定財源の名称・補助基本額・				いがまち同研事務局が移行したことにより、補助金等については、本庁生涯学習課が一元所管す		
考	地方債の区分と充当率等				金等については、本庁生涯学習課が一元所管するのか、移行した支所総務振興課で計上所管するかを検討必要。		